

～ 予防を重ね、健康をもっと身近に！！～



理学療法士は、主に病院や福祉施設などでリハビリテーションが必要な方のために働いています。しかし、理学療法士として仕事をする中で、「病気になってしまってから治す」ということの難しさや辛さを、痛感しました。
脳梗塞、変形性関節症、腰痛、腱鞘炎..

「しびれてる」「重たい」「歩きたくない」「どうしたら治るの？」

そんな出口のない言葉を何度も耳にしてきました。治る病気もあります。しかし元通りに治せない病気もあるのです。病気になってしまった方に、予防の必要性を訴えることほど残酷なことはありません。

医療人だからこそ、病院の中で病気になった方を待つのではなく、病院の外にでて疾病予防の大切さを伝える必要を感じました。



病気にならないと、専門家の話が聞けないっておかしくないですか？ 病気になる前に、もっと身近に専門家の知識を得ることができたら、日本の健康の質は向上すると思います。一般の方が、正しい健康知識を得ることで、健康食品や健康器具の選び方が変わります。

それは企業努力にもつながり、より良い商品作りへとつながります。また、未然に病気を防ぐことで、病院を受診する人が減れば、医療費の削減へと繋がります。医療費に余裕ができれば、難病の研究や不妊で悩む方に、より良い治療環境を提供することが可能になるのではないのでしょうか？

そして、病気を予防することは、高齢の方に特化したことではないということ。日本を支えて働く人、これから日本を支えていく子ども達にこそ、健康でいるために必要な知識を、学んでいただくことが、大切であると考えます。

— 代表挨拶 秋山恵利子 Akiyama Eriko —

ご存知でしたか？
H28 年度より運動器検診が始まりました

座高・寄生虫卵検査が廃止させ、新たに「四肢の状態」という運動器の項目が追加されました。しゃがみ込み、片足立ちなど、国レベルで調べるほど、問題のある子ども達が増えてきているのです。予防は大人に特化したことではありません。

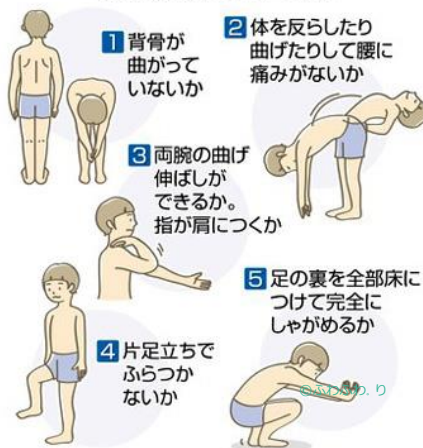
0歳からのからだ作りが
とても重要になります。
正しく歩けるからだを
育てましょう。



©ふわふわり

講座受付中！

運動器検診の調査項目



「児童生徒等の健康診断マニュアル」から

当協会では、歩育を推奨しています



一般社団法人
日本疾病予防教育協会

「予防ノススメ」

病気になる前に
予防する方法を学ぶ



日本の健康のあり方を考える

子育て

学校

企業

地域

病院

施設

Japan Educational Association for Disease Prevention

〒460-0003 愛知県名古屋市
中区錦1丁目10-12 服部ビル10F

TEL 052-212-7416

MAIL info@yobou-jead.org

URL www.yobou-jead.org

